

2023年度JPDSAビジョン：パラダンススポーツを通して共生社会の実現を目指す

具体的目標

- ① 統括競技団体としての目標→全国障害者スポーツ大会・正式競技エントリー
- ② 国際競技団体としての目標→パラリンピック・正式競技エントリー



- ① 国際的競争力のある強化選手層と選手層の充実
- ② 次世代育成
- ③ 組織力強化

1. 国際基準（WPDS）審判体制の充実
2. 指導者育成
3. 国内組織体制の充実（大会運営と全国の組織化）

年度	代表事業	選手強化事業	組織力強化事業	目指す目標
2023年	WPDS公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第1回）	強化合宿選考会		国際競技大会での上位受賞者の育成
	8月4日～6日 国立代々木競技場 第1体育館（実施）		普及促進事業の充実と人材の確保	
2024年	WPDS公認 アジアパシフィックパラダンススポーツ大会	強化合宿WPDS公式講習会開催を目指す	オフィシャルスポンサー獲得へ	各競技カテゴリーの指導者の内省化
	（申請中）国立代々木競技場 第1体育館 開催を目指す	日本選手権大会（選抜選考会）の開催	支援資金体制の構築	各競技カテゴリーの選手層の育成（次世代育成）
2025年	WPDS公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第2回）	各国への強化選手スタッフ研修派遣体制の構築	WPDS審判員育成開始	審判員育成派遣事業
	開催を目指す	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		競技選手層の充実（登録選手100名を目指す）
2026年	WPDS公認 アジアパシフィックパラダンススポーツ大会主催を目指す	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制	国内審判員制度の構築	WPDS公認審判員WPDS公認クラス分け員就任を目指す
	（愛知アジアパラリンピックへのアピール活動として）	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		
2027年	WPDS公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第3回）	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		国際大会での自国審判員輩出を目指す
	開催を目指す	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		競技選手層の充実（登録選手300名を目指す）
2028年	ロサンゼルスパラリンピックアピール事業として	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		全国障害者スポーツ大会（オープン競技）目指す
	WPDS公認 アジアパシフィックパラダンススポーツ大会への参加	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		（パラダンススポーツ競技種目として）
2029年	WPDS公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第4回）	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		全国障害者スポーツ大会（オープン競技）目指す
	開催を目指す	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		（パラダンススポーツ競技種目として）
2030年	WPDS公認 アジアパシフィックパラダンススポーツ大会への参加	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		全国障害者スポーツ大会競技正式競技参加を目指す
		日本選手権大会（選抜選考会）の開催		（パラダンススポーツ競技種目として）
2031年	WPDS公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第5回）	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		
	開催を目指す	日本選手権大会（選抜選考会）の開催		
2032年	2032年ブリスベンパラリンピック（正式種目）参加を目指す	年間を通じた国際大会への恒常的選手派遣体制		パラリンピックへの選手派遣を目指す
		日本選手権大会（選抜選考会）の開催		